

第 25 回 全国建築塗装技能競技大会

実 施 要 項

日 時：平成 29 年 10 月 25 日～ 26 日

場 所：愛知県体育館（公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団）

主 催 一般社団法人 日本塗装工業会

一般社団法人日本塗装工業会会歌

のびよわれらの日塗装

作詞 伊藤 喜三郎
作曲 中村 八大

一 青い空だよ 日本晴れだ

真赤な屋根に 白い壁

山の緑も 映えている

塗装で明るい 環境づくり

のびよ われらの 日塗装

二 暑さ寒さも なんのその

蔭の力の 功労者

今日も元気で 若人が

塗装で明るい 町づくり

のびよ われらの 日塗装

三 高いビルにも 家庭の中も

建設機械や 工場も

世界のなかまど 手をつなぎ

かかせぬ塗装で 国づくり

のびよ われらの 日塗装

のびよ われらの 日塗装

あ おい そら だよ につぼんば れー だ
まっ かな やね ーに しろい か べ
や まの みど りも はえていー る
とそ うで あかるいー かんきょうづく り のびー
よ われら の につ とそ う

目 次

1. 開催にあたって（会長挨拶）	1
2. 第25回全国建築塗装技能競技大会にあたって（実行委員長挨拶）	2
3. 大会役員	3
4. 全国委員	4
5. 審査員	5
6. 大会実施要領	6
7. 出場選手日程表	8
8. 審査員・補佐員日程表	9
9. 実技課題	10
10. 調色板課題図	18
11. 1人当たりのスペース	20
12. 支給塗料一覧表	22
13. 支給品一覧表	23
14. 褒章内訳一覧表	24
15. 会場・宿舎案内図	25
16. 競技会場平面図	26
17. 出場選手	27
18. 出場選手の心得	29

1. 開催にあたって

一般社団法人 日本塗装工業会
会 長 乃 一 稔

この度、ここ愛知県体育館において、第25回全国建築塗装技能競技大会を開催する運びとなりました。開催にあたりましては、国土交通省、厚生労働省のご指導をはじめ、関連諸団体・業界のご支援、ご協力を頂き、とりわけ開催ブロックであります中部ブロック、愛知県ならびに名古屋市ご当局の深いご理解を賜り、また関連諸団体・業界そして報道機関のご支援、ご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。また中部ブロックにおかれましては、実行委員長を中心として1年以上に及ぶ開催の諸準備に多大なるご尽力を賜りそのご苦勞に深く感謝申し上げます。

本大会は昭和43年東京で第1回大会が開催されて以来、今日まで脈々と歴史を刻んで参りましたがこの間、新材料・工法の登場、技能の向上、社会情勢の変化（特に環境問題等）に伴い、競技課題・使用材料も時のニーズに合わせて変更もして参りました。

今日本は、少子高齢化、人口減少の時代に突入しております。建設業界、塗装業界も担い手の確保育成を最優先に進めていかなければなりません。そのためには、処遇改善を第一に、若手の技能者が働きやすい環境を整えていくことが重要であると思っております。建設業界、塗装業界は、いまだ若手の技能者のなかでは3K職場というイメージがあり、当会ではこの3Kイメージをなんとか払拭したく「新3K職場」を提唱しております。お客様に感謝され、感謝し、そして感動を与え、仕事を通して社会に貢献していく。このような「新3K職場」に塗装業界もなっていかなければならないと感じており、私どもは、希望あふれる業種として次世代に向け、「技能の継承」、「人づくり」を推進していかなければいけないと考えております。

近年、施工の重要性が求められる状況の中で、施工技能の向上は当会の最も重要な課題であり、本大会の意義は極めて大きいものがあります。お蔭様で大会も回を追って充実して参りました。これも技能委員会のみならず本会会員の皆様の塗装技術・技能に対するたゆまぬ研究と研鑽の成果の賜と考えます。

出場選手の皆様は、数多くの技能士の中から選ばれた卓越した技能を有し、模範となる方々でおります。大会の雰囲気にも臆することなく、日頃の実力がいかんなく発揮されることを希望致します。

選手の皆様のご健闘を心からお祈りしてご挨拶と致します。

2. 第25回全国建築塗装技能競技大会にあたって

実行委員長 清水 康 二

全国建築塗装技能競技大会が、業界諸先輩方の長年に渡るご努力、そして関係各位の多大なるご協力のお蔭をもちまして、第25回大会として愛知県で開催する運びとなりました。当地での開催は昭和60年以来、32年ぶり3回目の開催となり、隔世の感を禁じえませんし、その歴史の深さには、改めて敬意を表する所でございます。

今回の大会は、中部ブロックの主管という事で、愛知・岐阜・三重・静岡4県の会員が力を合わせ運営に当たらせて頂く訳でございますが、従来の事業に比較し、これほどブロックの結束力の高まり、そして、その大切さを感じる事業は無かったと考える次第でございます。

当会の活動方針として、「ブロックを中心とした活動の活発化」が求められる昨今、技能の踏襲、後継技能士の育成といった課題は、我々塗装業者の根幹的な問題であり、全国建築塗装技能競技大会という事業の運営は、各選手に少しでも実力を思う存分発揮して欲しいという熱い思いもあり、ブロックの結束力も自ずから高まっていくのかもしれませんが。今後どうすれば、ブロックを中心とした活動が活性化されるのかは、今回の大会運営が大きなヒントになる様な気がしてなりません。

さて、愛知県では、ものづくりあいちを支える産業人材の育成を図るため、2019年度及び2020年度の技能五輪全国大会の開催に向け準備を進めるとともに、2023年度の技能五輪国際大会の本県招致に向けた取り組みも進めているとの事でございます。県としては、各大会の招致、開催をはじめとして、様々な事業展開をしながら、日本一のものづくり県である愛知の圧倒的な産業集積を生かした産業競争力を一層強化し、愛知のさらなる飛躍につなげて行きたいという考えの様でございます。そういった県の意図にも合致する様に、第25回全国建築塗装技能競技大会が愛知で開催されるというのは、運命的にも感じますし、時代の自然な希求なのかもしれません。

その様な「ものづくりあいち」で開催される、今回の大会においても、連綿と受け継がれる熟練技能は勿論の事、選手個人の感性を含めた技能の習熟度が競われるものであり、出場される選手諸君が日頃の訓練成果を如何なく発揮できる様、開催地としての準備を行って参りました。選手諸君には、各賞の受賞を目指し、健闘されん事を心より祈念申し上げます。

結びにあたり、本大会の運営にご支援・ご協力を賜りました関係各位をはじめ、本大会に参画頂きました総ての会員の皆様に対し、心より感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

3. 大会役員

大会会長	乃一 稔			
大会副会長	古崎 正敏	永田 好一	長崎 和孝	北原 正
主管中部ブロック代表	久田 五海			
実行委員長	清水 康二			
実行副委員長	森 有光	中島誠津男	小寺 徹也	一宮 久朗
総務部会	◎小寺 徹也	○庄司 榮樹	○加藤 宜久	○宮木 雅吉
選手サポート部会	◎森 有光 園田 昌弘	○佐野 範宜 太田 一也	○中川 欣二 石居 達己	○平田 晃 伊東 博之
会場設営部会	◎中島誠津男	○三輪 雄彦	○荒井 隆亨	○杉本 崇誌
開催地補佐員部会	◎森 祐治 小川 綾一 黒柳 誠 丸山 将嗣	中村 富保 本多 幸広 深見 耕史 浅沼 貴史	内山 治 島崎 勝正 山口 卓郎	宇佐美良二 杉浦 晴英 川崎 真也
開催地実行委員	山下 保佑 伊佐治比奈子 石川 政夫	高橋 和巳 飯味 正幸 小林 祐太	永江 義澄 清水 雅典 山田 翔平	乃一 剛英 小川 建水

注) ◎印 部会長

○印 副部会長

4. 全 国 委 員

〔 常 任 理 事 〕

加藤 憲利 宮木 章吉 若宮 昇平 松室 利幸 柏 光一 西下 武則

〔 ブ ロ ッ ク 理 事 〕

玉川 健仁 寺沢 政男 井上 昇 小川善一郎 吉田 勝二
久田 五海 川原 貞儀 安島 壯 菅原 清司 真砂 光和

〔 会 員 理 事 〕

中村 達也 田山 順一 松本 俊一 松尾 康司 古畑 守
山崎 久康 三好 研一 山下 保佑 清水 康二 鈴木 豊
杉本 俊文 石原 寛 内田莊一郎 副島 正則 木下 顕

〔 支 部 長 〕

相馬 真二 佐々木謙一 松川多喜夫 片桐 久 鈴木 博巳
小泉 幹夫 木暮 実 奥野 眞一 木村 一美 野尻 信晴
祖泉 信宏 岡本 保男 森 有光 中島誠津男 小寺 徹也
杉本 定幸 渡邊 廣之 早瀬 利典 岩田 元志 松本 淳
嶋 美知夫 岩崎 浩 板持 伸一 黒崎 政彦 井上 良一
檜垣 康彦 二宮 知央 篠原 正樹 尾崎 武行 池田 幹友
平野 芳憲 西田 斉 佐藤 佳郁 園田 龍男 市坪 孝志
稲嶺 恒行

〔 技 能 委 員 〕

田口 真澄 大矢 謙二 石塚 俊伸 宮下 昭造 松田 勝己 小川 裕治

5. 審 査 員

審査員長	荒木俊成（京都・技能副委員長）
特別審査員	*国土交通省および厚生労働省より特別審査員を各1名依頼する予定
審 査 員	
	松田正幸（北海道・技能副委員長）
	齊藤佳昭（茨城・技能副委員長）
	長谷川秀樹（神奈川・技能副委員長）
	大南拓哉（愛知・技能副委員長）
	石川匡洋（三重・技能委員）
	宮平和浩（鳥取・技能副委員長）
	影浦達也（愛媛・技能副委員長）
	落合三郎（熊本・技能副委員長）
計	9名（審査員長含む）

〈審査員資格〉

- (1) 一般社団法人日本塗装工業会会員であること。
- (2) 1級建築塗装技能士または職業訓練指導員免許を取得している者。
- (3) 塗装実務経験20年以上の者。
- (4) 上記(2)、(3)のいずれかに該当し、心身とも健康な者で技能委員とする。
- (5) 自社より出場選手のある者は審査員となることは出来ない。
- (6) 審査員は大会役員・全国委員を兼務できない。
- (7) 特別審査員は国土交通省および厚生労働省の担当官にそれぞれをお願いする。

6. 大会実施要領

1. 目的

大会に参加する選手個々の人格、識見の高揚を目指し、より高度な塗装技能を競い、技能士としての自覚と能力の向上を図ることを目的とする。

2. 主催 一般社団法人 日本塗装工業会

3. 後援 (予定)

国土交通省、厚生労働省、愛知県、静岡県、三重県、岐阜県、名古屋市、中央職業能力開発協会、(一社)日本塗料工業会、日本塗料商業組合、日本建築仕上材工業会、中日新聞社、東海ラジオ放送(株)、(株)CBCテレビ、静岡新聞社・静岡放送、(株)静岡銀行

4. 期 日 平成 29 年 10 月 25 日 (水) ~ 26 日 (木)

5. 競技会場 愛知県体育館

所在地：愛知県名古屋市中区二の丸 1 番 1 号 電話：052-971-2516

6. 参加資格

(一社)日本塗装工業会 第 25 回全国建築塗装技能競技大会 ブロック大会の成績上位者 (ブロック割当数は別に定める) 48 名。(27 ~ 28 頁)

[ブロック大会参加資格 (抜粋)]

- 1) 『建築塗装技能』のブロック大会出場資格者は 1 級または 2 級の建築塗装技能検定の取得者とする。なお、大会出場経験者の参加出場も認める。(大臣賞受賞者は除く。)
- 2) 出場選手は本会会員またはその従業員であること。

7. 参加費 無料 (選手および観覧者)

8. 競技内容

所定の競技課題 (10 ~ 19 頁) を所定の使用材料 (22 頁)、所定の使用工具 (23 頁) を用いて作成し、その作業動作および完成度について競技する。

9. 服 装

作業衣上・下、作業帽、作業袋は支給するので競技時間中は必ず着用する。

(大会終了後進呈) また、履物は運動靴を持参すること。

10. 使用塗料

必要塗料の一定分量を一組にして各自に支給する。(22 頁参照)

11. 使用工具

各自必要な工具を持参してよいが電動機器類等は禁止する。ただし、競技課題および支給品一覧表 (23 頁) を熟読し必要なものは各自持参する。

12. 副資材

副資材等については支給品一覧表を参照の上、必要なものは各自持参すること。

13. 審査

国土交通省および厚生労働省に依頼する特別審査員各1名（予定）ならびに本会が委嘱する審査員計11名により審査する。

審査方法は別に定める採点基準により採点する。

14. 褒賞

内閣総理大臣賞、国土交通大臣賞、厚生労働大臣賞の他各種賞状および副賞を授与する。

(24頁参照)

15. その他

①選手の旅費は往復支給する。

②選手の宿泊費（2泊：24日、25日）は無料とする。（本会負担）

ただし、26日の宿泊については、交通事情上、帰宅困難な方に限り、本会負担にて宿泊可能。

選手宿泊先：ホテル名古屋ガーデンパレス

住所：〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目11-13

TEL：052-957-1022

③選手の食事支給予定

10月24日（火） 夕食

10月25日（水） 朝食・昼食・夕食

10月26日（木） 朝食・昼食・夕食（夕食は宿泊希望者のみ）

10月27日（金） 朝食（宿泊希望者）

7. 出場選手 日程表

1. 期 日 平成 29 年 10 月 24 日 (火) ～ 26 日 (木)
2. 会 場 愛知県体育館 (公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団)
- 所在地：愛知県名古屋市中区二の丸 1 番 1 号 電話：052-971-2516

月 日	時 間	予 定
10 / 24 (火)	14 : 00 ～ 15 : 00 15 : 00 ～ 15 : 30 15 : 30 ～ 17 : 00 17 : 00 ～ 19 : 00 19 : 00 ～ 19 : 15 19 : 15 ～	会場集合、受付 (時間厳守) 着替え・記念撮影 競技課題の説明・質疑応答 レセプション (愛知県体育館) 貸切バスにてホテルへ移動 宿泊ホテルチェックイン
10 / 25 (水) 第 1 日	8 : 20 8 : 30 ～ 8 : 50 9 : 00 ～ 9 : 10 9 : 15 ～ 9 : 45 9 : 45 ～ 10 : 00 10 : 00 ～ 12 : 00 12 : 00 ～ 12 : 45 12 : 45 ～ 18 : 15 18 : 15 ～ 18 : 30 18 : 30 ～ 19 : 30 19 : 30 ～	ホテルロビー集合 ホテル出発、貸切バスで競技会場へ移動 着替え・作業支度 開会式 ラジオ体操・作業支度 競技 休憩 (昼食) 競技 (後片付けを含む) 着替え 夕食 (愛知県体育館) 貸切バスでホテルへ移動、ホテル宿泊
10 / 26 (木) 第 2 日	8 : 20 8 : 30 ～ 8 : 50 9 : 00 ～ 9 : 30 9 : 30 ～ 12 : 00 12 : 00 ～ 12 : 20 (12 : 20 ～ 14 : 00) 12 : 20 ～ 15 : 20 15 : 30 ～ 16 : 30 16 : 30 ～ (16 : 30 ～ 17 : 30)	ホテルロビー集合 ホテル出発、貸切バスで競技会場へ移動 着替え・ラジオ体操・作業支度 競技 (作業終了時に枠・床面の清掃含む) 後片付け (私物・機具等) 審査の為、会場内立入禁止 (2階席観客席は立入可) 昼食・作品見学・荷造り等 表彰式 表彰式終了後、解散 *宿泊手配の必要な選手は ホテル宿泊・翌朝チェックアウト 作品前での記念撮影等 (各選手任意) ※競技大会で作成した作品の持帰りは不可。

8. 審査員・補佐員 日程表

1. 期 日 平成 29 年 10 月 24 日 (火) ～ 26 日 (木)
2. 会 場 愛知県体育館 (公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団)
所在地：愛知県名古屋市中区二の丸 1 番 1 号 電話：052-971-2516

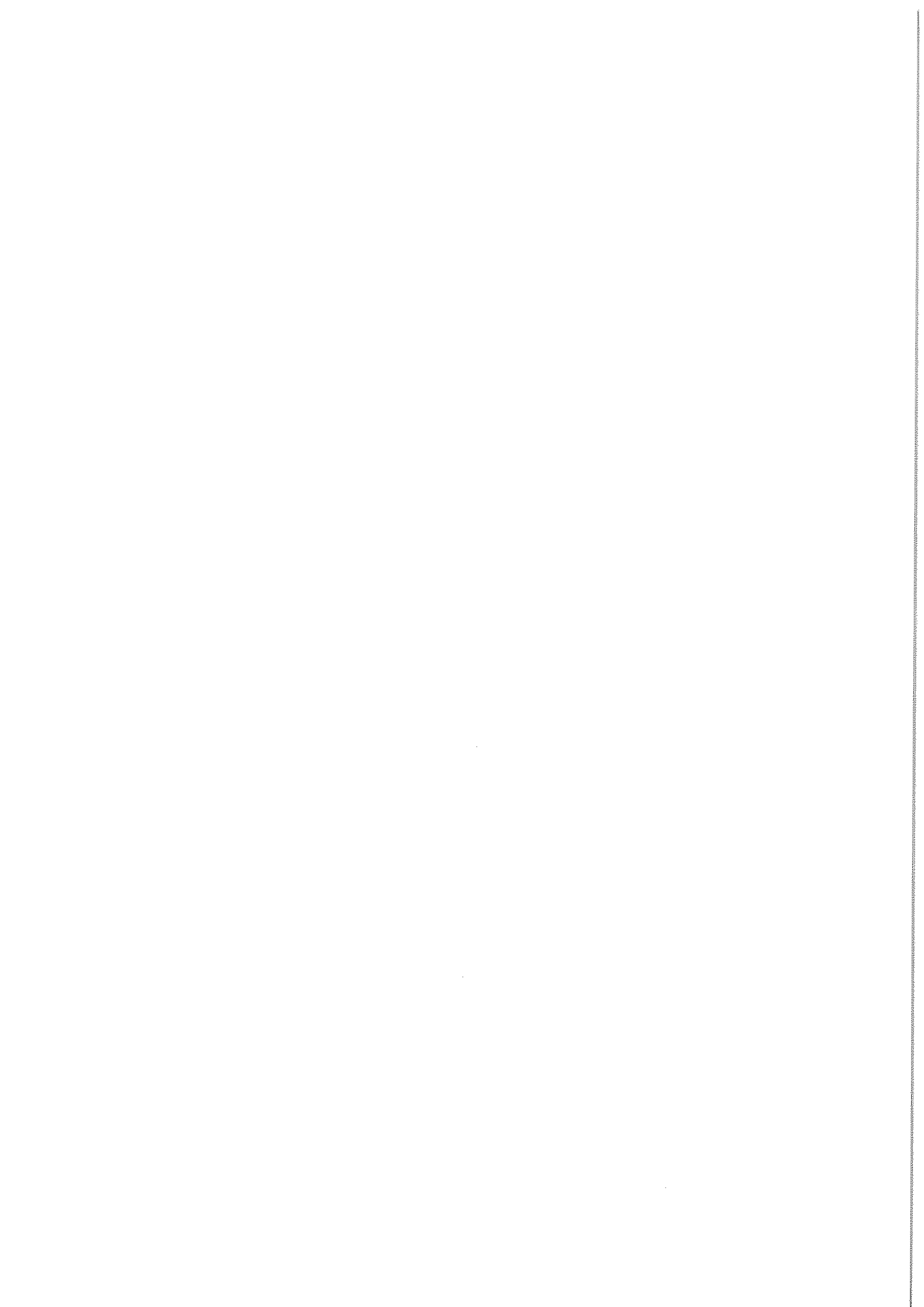
月 日	時 間	予 定
10 / 24 (火)	13 : 30 ～ 14 : 00 14 : 00 ～ 15 : 15 15 : 15 ～ 15 : 30 15 : 30 ～ 17 : 00 17 : 00 ～ 18 : 30 ～	各自昼食後、会場集合 審査員・補佐員会議 記念撮影 課題説明 タクシーにて宿泊ホテルへ移動 ホテルにて夕食会
10 / 25 (水) 第 1 日	8 : 20 8 : 20 ～ 8 : 40 9 : 15 ～ 9 : 45 10 : 00 ～ 12 : 00 12 : 00 ～ 12 : 45 12 : 45 ～ 18 : 15 18 : 15 ～ 19 : 00 19 : 00 ～ 19 : 30 ～	ホテルロビー集合 タクシーにて会場へ移動 開会式 競技審査 休憩 (昼食) 競技審査 1 日目審査集計取りまとめ タクシーで宿泊ホテルへ移動 ホテルにて夕食会
10 / 26 (木) 第 2 日	8 : 30 8 : 30 ～ 8 : 50 9 : 00 ～ 9 : 30 9 : 30 ～ 13 : 20 13 : 20 ～ 15 : 30 ～ 16 : 30 16 : 30 ～	ホテルロビー集合 タクシーにて会場へ移動 会場集合、A 課題・B 課題 (単層弾性) の完成審査 競技審査 休憩 (昼食) 表彰式 解散 or ホテルへ移動

9. 実 技 課 題

第 25 回全国建築塗装技能競技大会

〔注意事項〕

- ・ () 内の区画線寸法は、およその寸法を示している。
- ・ 課題 (B) (C) の図面の区画線寸法は、「左」から「右」へ、「下」から「上」へを原則として考える。



(A) 課題 つや有合成樹脂エマルジョンペイント刷毛塗り仕上げ

	工 程	仕 様
1	養生	枠材及び床を養生しなさい。(床ラインは残すように)
2	施工段階線①	課題図で示すシーラー塗りのまま残す部分を計測しなさい。 マスキングテープ使用を可とします。
3	素地ごしらえ	付着物の除去・清掃・穴埋めをしなさい。(金ヘラ使用可)
4	地 付 け 1 回 目	課題図で示す施工段階線①より上を、金コテを用いて1回目の地付けをしなさい。 使用材料 FC平滑F 09 - 80 F
5	施工段階線②	課題図で示す地付け1回目のまま残す部分を計測しなさい。 マスキングテープ使用を可とします。
6	研 磨	施工段階線②より上の部分を研磨しなさい。
7	地 付 け 2 回 目	課題図で示す施工段階線②より上を、金コテを用いて2回目の地付けをしなさい。 使用材料 FC平滑 白
8	施工段階線③	課題図で示す地付け2回目のまま残す部分を計測し、鉛筆で線を引きなさい。 マスキングテープ使用を可とします。
9	研 磨	施工段階線③より上の部分を研磨しなさい。
10	区 画 線	課題図にしたがって枠材の「内ノリ」より寸法を計測し、区画線を引きなさい。
11	仕 上 げ	調色 (GP) したA色・B色を課題図で示す区画線内に、刷毛を使って2回塗り仕上げしなさい。(2回目仕上げ塗りは調色板を提出した後、行うこと。)
12	片付け清掃	枠材及び床養生撤去後、床清掃をしなさい。

- * 施工段階線③は鉛筆線を残すこと。
- * 区画線の鉛筆線は塗りつぶすこと。
- * 調色板の塗装は、刷毛で2回塗りとする。(A・B色)
- * 支給材料以外は使用しない。
- * A課題調色板の塗装は、第1日目の午後5時までに仕上げて提出すること。また、提出の際は、手を上げて審査員、補佐員の指示に従って行うものとする。(P 18～19参照)
- * GP：つや有合成樹脂エマルジョンペイントの略称
- * FC：フレックスコートの略称
- * 競技第1日目終了までに、A課題は全て仕上げておくこと(完成させておくこと)。

(B) (C) (C') 課題 下地処理仕様

	工 程	仕 様
1	養 生	枠材及び床養生を下さい。(床ラインは残すように)
2	素地ごしらえ	付着物の除去・清掃・穴埋めを下さい。また、養生で残す部分のビスも穴埋めすること。(金ヘラ使用可)
3	目地処理及び テープ貼り	厚付け白で①'、①"の区分け通りV部を充填処理し(金ヘラ使用可)乾燥状態を確認して支給したジョイントテープを貼り下さい(入隅部はジョイントテープを貼らない)。
4	出隅 コーナー貼り	出隅はコーナーテープ(フリーコーナーテープ〔糊付])を①"の区分け通り貼り下さい。
5	施工段階線①	課題図で示す素地のまま残す部分を計測下さい。
6	ジョイントテープ ジョイント部・ 出隅コーナー処理	ジョイントテープ面は、FC厚付け白を用いて金コテで処理下さい。 出隅部は、FC厚付け白を用いて出隅用コテで処理下さい。
7	施工段階線②	課題図で示すジョイント処理部と出隅処理部を残す部分を計測下さい(残す部分については研磨しないこと)。
8	研 磨	施工段階線②より上(ジョイント処理部及び出隅処理部)の研磨を下さい。
9	地 付 け 1 回 目	FC平滑 F09-80Fを金コテで、Bの面、出隅・入隅部を出隅・入隅用コテを用いて1回地付け下さい。 B面は全面地付け、C'面は200mm程度で段差のないよう止め下さい。 自由課題C面の平面の地付けは任意でよい。
10	施工段階線③	課題図で示す地付けのまま残す部分を計測下さい。 マスキングテープの使用を可とします(残す部分については研磨しないこと)。
11	研 磨	B面は、施工段階線③より上の部分を研磨下さい。 C面とC'面の出隅部は研磨せず残下さい。
12	地 付 け 2 回 目	課題図で示す区画線内全面に、FC平滑白を用いて金コテ仕上げ塗り下さい。C面の出隅・入隅部は出隅・入隅用コテで仕上げ塗り下さい。 自由課題C面の平面の地付けは任意でよい。

- * ①'の下部処理の際には下から50mmのところにてテープ養生すること。
- * 支給材料以外は使用しない。
- * 施工段階線④は、③より上に100mm計測し、それより上を2日目にFC平滑白で仕上げる。
- * 入隅部は水性コーキング処理済。
- * 競技第1日目16時まで、下地処理作業は全て仕上げておくこと(完成させておくこと)。

(B) 左右 課題 フレックススウェード木目調仕上げ

下地処理仕様に続いて

	工 程	仕 様
1	区画線Ⅰ	課題図で示す地付け2回目のまま残す部分及び中央の防水形外装薄塗材E（単層弾性）ローラー塗り施工面と、木目(1)木目(2)の境界線と入隅側を図面寸法通り計測しなさい。
2	養生	区画線Ⅰの中央の防水形外装薄塗材E（単層弾性）ローラー塗り施工面と入隅部分を養生しなさい。
3	研磨	区画線Ⅰの左右のFCスウェード木目施工面を研磨しなさい。
4	下塗り	FCスウェード専用シーラーを塗りなさい。（ローラー1回塗り） 試し塗りは不要。
5	中塗り	FCスウェードバインダーを指定するC色（F 17 - 40 D）に調色後、ローラーで1回塗りをしなさい。周囲はマスキングテープおよびマスカー養生を可とします（中塗りは、調色板を提出した後行うこと）。
6	施工段階線 ①、⑤	課題図で示すフレックススウェードバインダーのまま残す部分を計測しなさい。 マスキングテープの使用を可とします。
7	仕上げ塗り	調合したFCスウェードを、支給された用具を用いて塗布しなさい。 左のFCスウェード課題は、支給された用具を用いて木目模様を3列に描きなさい。うづくりは図のように右から3つ、2つを交互に描きなさい。 右のFCスウェードは、支給された用具を用いて中央にうづくり1つ、残りは柾目を図のように描きなさい。
8	片付け清掃	枳材および床養生後、床清掃をしなさい。

- * 調色板の塗装は、ローラーで1回塗りとする。（P 19参照）第1日目の午後5時までに提出する。また、提出の際は、手を上げて審査員、補佐員の指示に従って行うものとする。
- * 左右の木目模様描きは全面地付2回とバインダー塗りをした後、下から100mmを残し、施工段階線①より上に図面通りに描きなさい。
マスキングテープ及びマスカー養生を可とします。
- * FCスウェードの調合方法
FCスウェード仕上げ（上塗り塗料）1kgに、中塗りに使用したFCスウェードバインダーを用意したポリカップを用いて45ml添加して、均一に混ざるように十分に攪拌する。
- * 支給された木目描き用具（加工は認めない）以外は使用してはならない。
- * 支給された試し塗り板の上30mm及び下50mmを養生し、試し塗りをを行い必ず指定された場所に取り付けなさい。
- * 競技第1日目終了までに、工程5中塗りまでの作業は終了しておくこと。

(B) 中央 課題 防水形外装薄塗材 E (単層弾性) ロール塗り仕上げ

下地処理仕様に続いて

	工 程	仕 様
1	施工段階線④	施工段階線④を計測しなさい。
2	養生	施工段階線④を養生しなさい。 Bの面中央部分左右の木目塗装 (フレックススウェード) との区画線の内側に 18 mm マスキングテープを貼りなさい。 枠材上部内側を防水形外装薄塗材 E (単層弾性) の厚みを考慮して養生しなさい。
3	素地ごしらえ	付着物の除去・清掃をしなさい。
4	モールディングの取付	モールディング「日塗装ロゴマーク」を、図面寸法位置に外部用アクリルコークを用いて貼り付けしなさい。 固着確認後、周囲をマスキングテープおよびマスキングテープで養生しなさい。
5	単層弾性塗り	支給された防水形外装薄塗材 E (単層弾性) を、見本の模様になるように多孔質ローラーを用いて仕上なさい。
6	片付け清掃	枠材・区画線Ⅰと施工段階線④の養生撤去後、床清掃しなさい。

- * 支給された試し塗り用板を用いて、多孔質ローラーを慣らすこと。
- * 支給材料以外は使用しない。
- * 支給された試し塗りの板の上 30mm 及び下 50mm を養生し、試し塗りを行い必ず指定された場所に取り付けなさい。
- * モールディング「日塗装ロゴマーク」取付け用の外部用アクリルコークは所定の場所まで取りに行くこと。
- * 競技第 1 日目終了までに、単層弾性は全て仕上げておくこと (完成させておくこと)。

(C) 課題 自由仕上げ (自由課題)

※指定テーマ 《 商業施設の壁の一部を創作する 》

	工 程	仕 様
1	区画線②	区画線②を計測しなさい。
2	養生	枠材および床と区画線②の入隅・出隅の残す部分を養生しなさい。
3	素地ごしらえ	付着物の除去・清掃をしなさい。
4	自由工程	<p>区画線②(入隅部分)から区画線②(出隅部分)までの課題全体を自由に使い、建築塗装用材料(溶剤を含む材料・吹付工法・スプレー缶などは不可。また、水性霧吹きの使用については、水を使用する場合に限り可とする。)を用いて完成予想図のテーマに適合する作品を制作しなさい。</p> <p>FC平滑白、FC厚付け白の支給材料及び会場に用意されたFCロッキー白の使用については任意とする。</p> <p>制作するための着色・造形・工程・工法制作工具は限定しないが、既に完成している装具材、製品の貼付け、取付けは不可とします。但し、モールディングの使用は可とする。モールディングの素材は、木製または各種発砲ウレタン、発泡スチロールに限定します。また、持込時は下地塗装(微弾性フィラー・樹脂セメントなど、木製の場合は、使用予定の仕上げ材に対する下塗り材までの施工、下塗り材の色については単色とする)までのものとし、仕上げについては競技大会にて仕上げることにする。</p> <p>取付はアクリルコーク・両面テープの併用とします(釘止め、ビス止めは不可)。</p> <p>モールディングの出巾(部材の厚み)は、50mm以内とします。</p>
5	片付け清掃	枠材及び床養生撤去後、床清掃をしなさい。

* 着色用の原色、アクリルコーク、両面テープは各自持ち込むこと。

* 有機溶剤の持込み及び使用は不可。

* FC：フレックスコートの略称

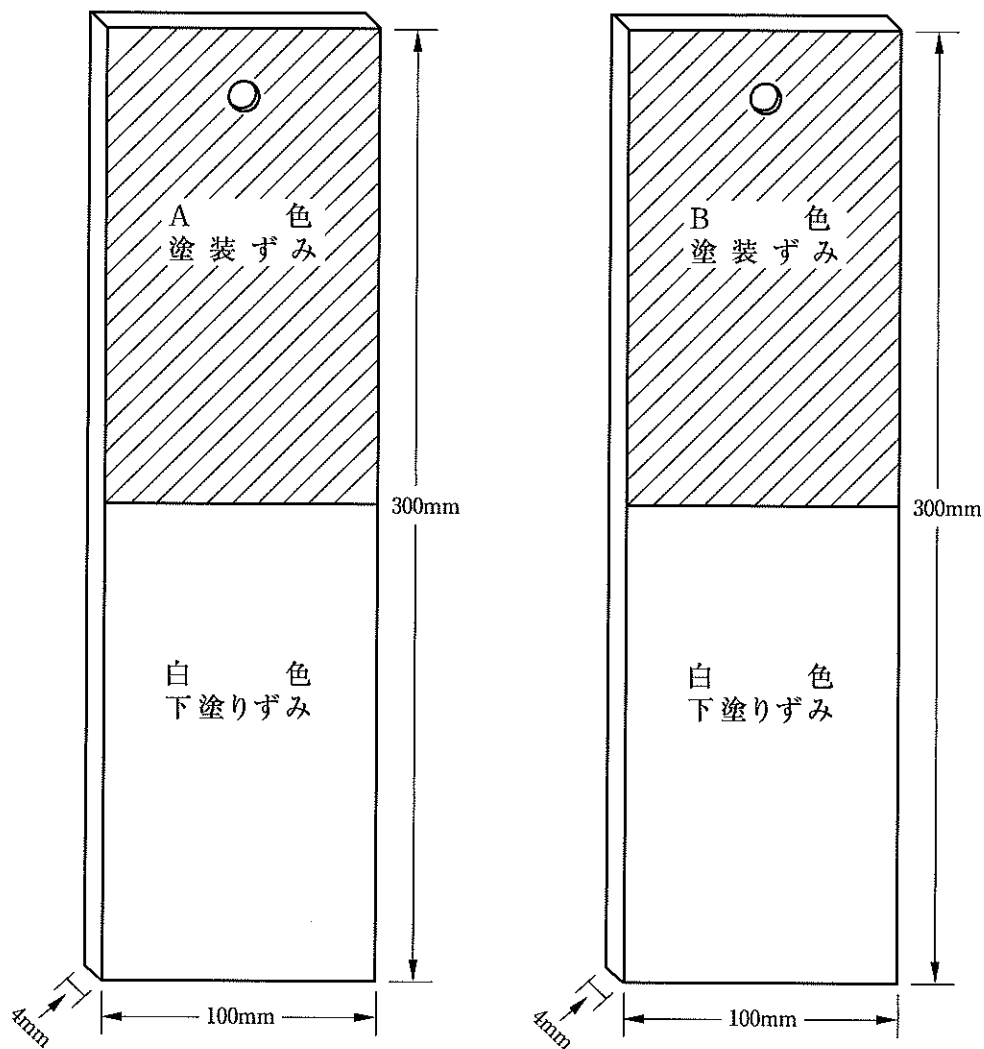
10. 調色板課題図

第25回全国建築塗装技能競技大会

(A) 課題 つや有り合成樹脂エマルジョンペイント・刷毛塗り仕上げ

A色 [H 35 - 70 H] 刷毛塗り2回仕上げ

B色 [H 22 - 80 F] 刷毛塗り2回仕上げ



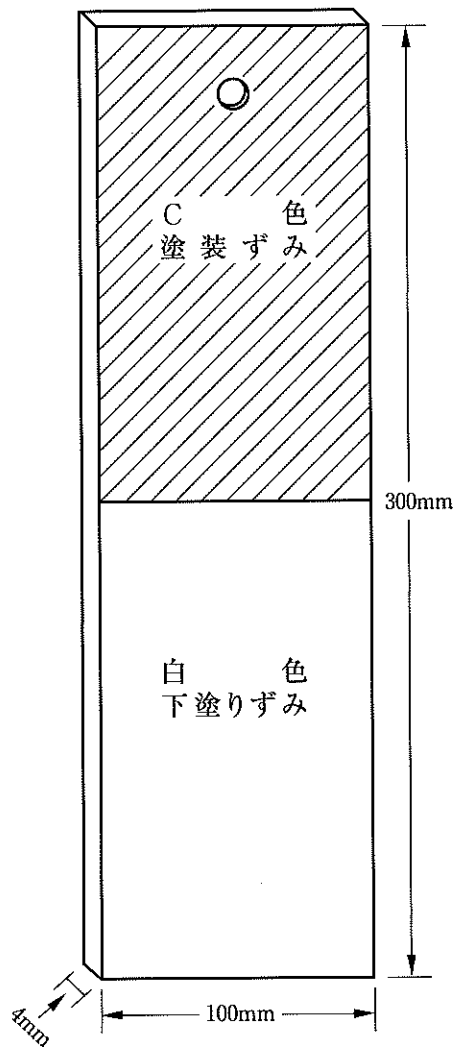
注1) 第一日目の午後5時まで提出すること。

注2) (A) 課題を仕上げる前に提出すること。

10. 調色板課題図

第 25 回全国建築塗装技能競技大会

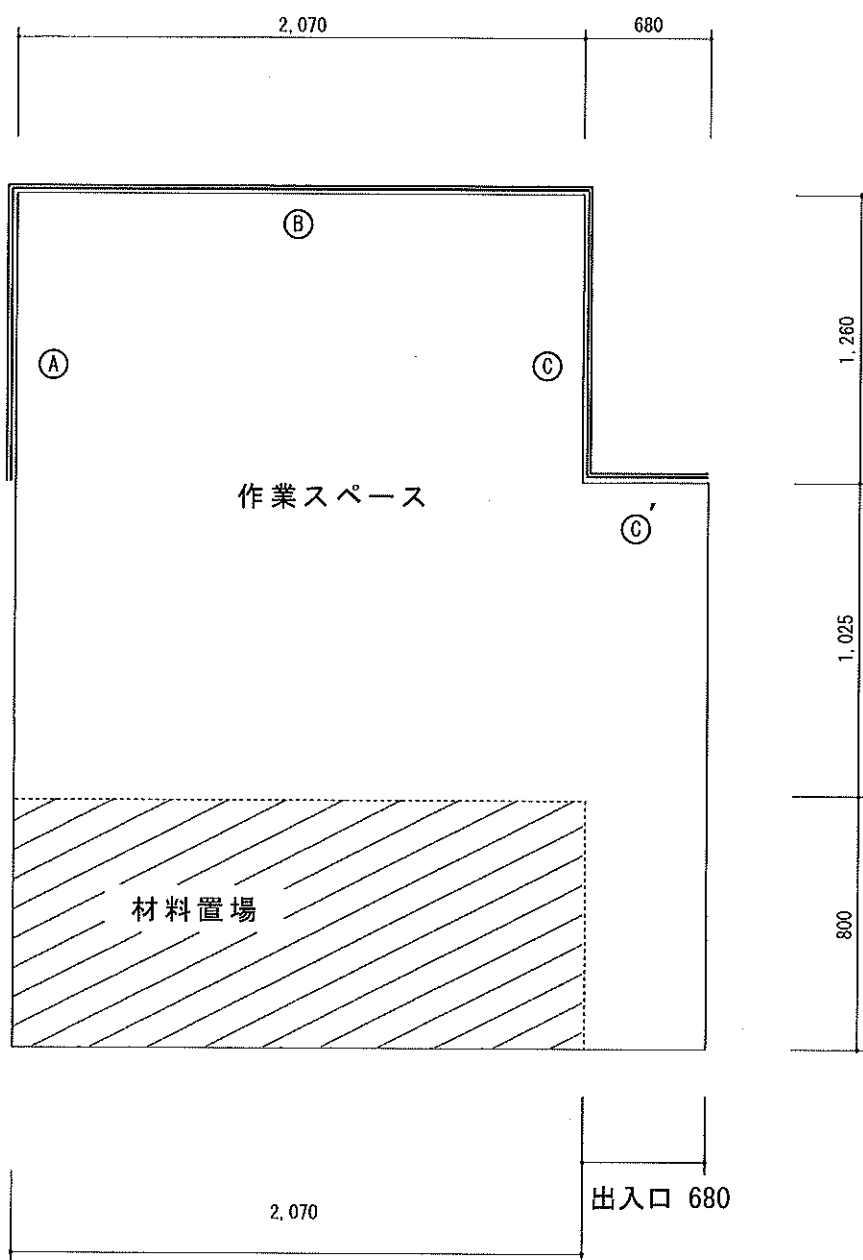
- (B) 左右 課題 フレックススウェード木目調仕上げ
FCスウェードバインダー (中塗り)
C色 [H 17 - 40 D] ロールロー 1回塗り仕上げ



注 1) 第一日目の午後 5 時まで提出すること。

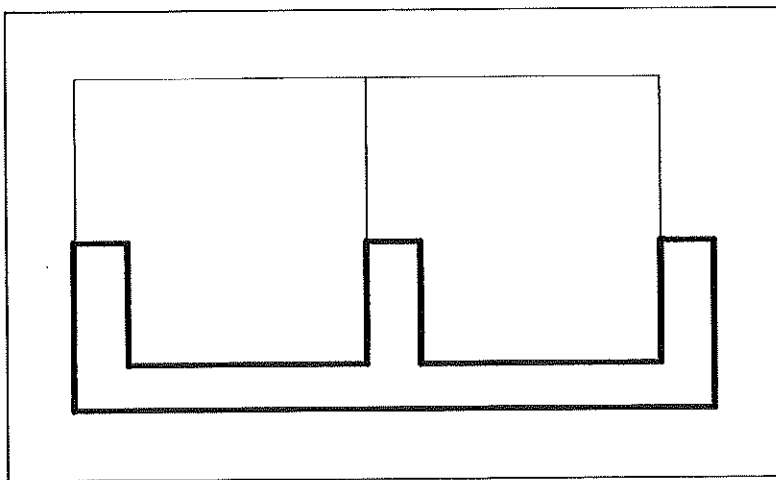
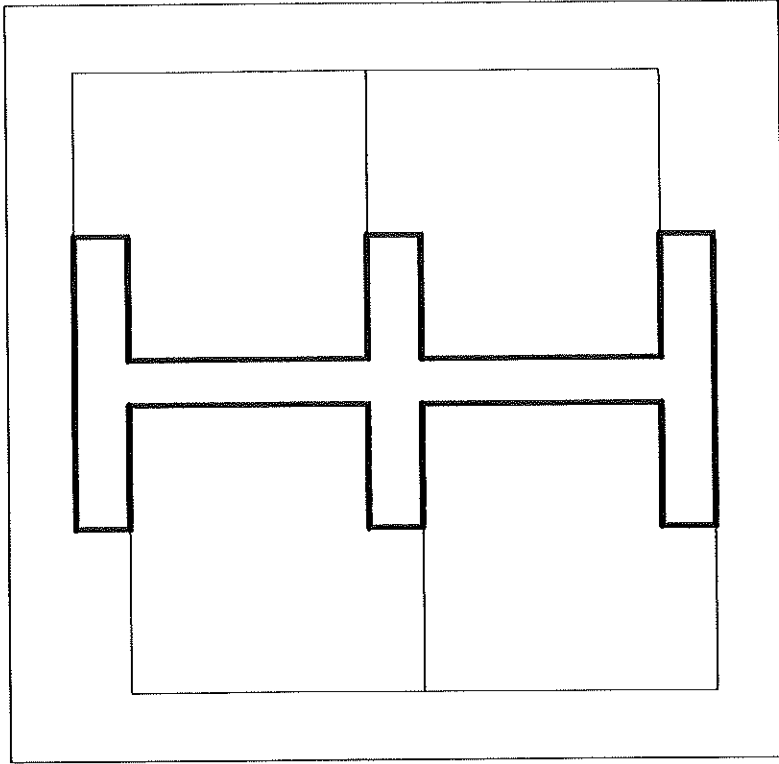
注 2) (B) 左右課題のバインダーを塗る前に提出すること。

11. 1人当たりのスペース



選手1人分 作業スペース図

- * 材料置場は 2,070 × 800 です。
 - * 工具箱・コンテナサイズは「幅500程度×奥行400程度×高さ300程度」で2個まで持ち込み可。
- また材料置き場には全支給材料と持参工具(コンテナを含む)のすべてを納めることとする。



12. 支給塗料一覧表

下記の塗料が大会当日支給されるので、競技者は必ず確認して下さい。不足のものがあれば、競技開始前に申し出るようにして下さい。下記の支給材料で作業すること。(追加支給はしません。)

* 『建築塗装技能競技大会』実技課題 (A・B・C・C') の支給塗料の一覧表

塗料名	色名	形状・入り目	数量
FC 平滑	白	4 kg	1
〃	H 09-80 F 近似	4 kg	1
FC 厚付け	白	2 kg	1
つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	白	1 リットル入り缶	1
〃	黄・紺・赤錆・黒	1/4 リットル入り缶	各1
フレックススウェード下塗り (専用シーラー)	白	0.5 kg	1
フレックススウェードバインダー (中塗り)	調色用 白	0.5 kg	1
〃	〃 黄	1 kg	1
〃	〃 赤錆	0.5 kg	1
〃	〃 黒	0.5 kg	1
フレックススウェード仕上げ (上塗り)	調合品：クリアー	1 kg	1
防水形外装薄塗材 E	Dic N-920 (艶消) ※愛知県花かきつばたの色	2 kg	1

- * (C) 自由課題用の着色塗料と骨材、原材料に限り各自持ち込むこと (ただし、スプレー式ペイント、溶剤の持ち込みは不可)
- * FC ロッキー (自由課題模様付け) は、必要な場合に所定の場所まで取りに行くこと。

13. 支給品一覧表

下記のもので大会当日支給されますので、競技者は必ず確認して下さい。
不足のものがあつたら、競技開始前に係員に申し出ること。

＊『建築塗装技能競技大会』実技課題支給品一覧表

(寸法単位mm)

品名	形状・寸法	数量	備考
課題用パネル	ラワンベニヤ A	1面	
	せっこうボード B、C、C'	3面	
発砲ウレタンモールディング「日塗装ロゴマーク」(塗装済み) ※上記貼付け用外部用アクリルコークは会場に用意してある。		1	
調色板	しな合板製 100×300×4	3枚	
ローラーブラシハンドル	ローラーハンドル(ミドルローラー 巾175 中毛用)	1本	
ローラーブラシ	ミドルローラー 巾175 中毛	3本	
バケツおよびネット、内容器	ローラーバケツ SXセット 210×170	2組	フレックス スウェード用
木目グレイニングローラー・ ゴムヘラ	専用ローラー・ヘラ	各1	木目調 仕上げ用
調色用ポリカップ	100cc 目盛り付き	1	
日塗工色見本帳付属比色マスク		1	調色用
試し塗り用板(シーラー塗装済)	300×450程度 ベニヤ板	2	
ローラー皿	PPローラー皿 9インチ	1	
多孔質ローラー及びハンドル	多孔質ローラー(標準目) 7インチ	1	主材厚塗り用
	コーナーローラー(標準目)	1	
バケツおよびネット、内容器	ローラーバケツM ネット付 210×235	1	
ひしゃく(玉しゃくし)	スूपレードル 438-7295	1	
さげ缶		2缶	
さげ缶カートリッジ		4	
調色用カップ	ロングポット 500cc×2 1000cc×1	3	
かくはん棒	ミキシングバー 225×3・かくはん棒 315×1	4本	
手定板	415×335 LL	1	
ジョイントテープ	50×1800ミリ	1	
フリーコーナーテープ (出隅用)	2000	1本	
研磨紙	P180、P240、P280	各1枚	
ウエス	白	適量	
マスキングテープ	巾18×3巻 ボード用18×1巻 枠養生用30×1巻	5本	
養生テープ	ガムテープ巾25	2ヶ	
養生紙	テープ付きマスカ 550	3ヶ	
定規	ステンレス製 線引き用 L1000・L600	各1本	
コンパス	155ミリ	1	
水(作業用)	2L	1	
休憩時の荷物カバー用シート		1	
簡易防塵マスク		1ヶ	
作業服	上着・ズボン	1着	持ち帰り
作業帽		1ヶ	持ち帰り
ゼッケン布	胸・背つなぎ	1枚	

＊ はけ、ふで、角コテ、出隅用コテ、入隅用コテ、金ヘラ、木ヘラ、プラスチックヘラ、こしわけ用具、作業袋(腰袋)はさみ、掃除などで必要な用具は各自持参すること。
上記の養生道具で不足と思われるものの持参は可。
角コテについて、大きさは240以上とし、丸コテ、剣先コテは不可とする。
(C)自由課題に限り工具類は各自持ち込み可。
ただし、定規は支給されたものを使用すること。
簡易防塵マスクについては、ペーパー掛けの際、必ず着用すること。
作業用踏み台については、名目背丈に合ったものを持参しても良い。

14. 第 25 回全国建築塗装技能競技大会 褒賞内訳一覧表

内閣総理大臣賞
国土交通大臣賞
厚生労働大臣賞
国土交通省 土地・建設産業局長賞
厚生労働省 人材開発統括官賞
愛知県知事賞
名古屋市長賞
中央職業能力開発協会会長賞
一般社団法人 日本塗料工業会会長賞
日本塗料商業組合理事長賞
日本建築仕上材工業会会長賞
一般社団法人 日本塗装工業会会長賞
課題別部門賞（7部門） 一般社団法人 日本塗装工業会会長賞
特別賞：中日新聞社賞、東海ラジオ放送賞、東海テレビ放送賞、CBCテレビ賞、 静岡新聞社・静岡放送賞、静岡銀行賞

[部 門 賞]

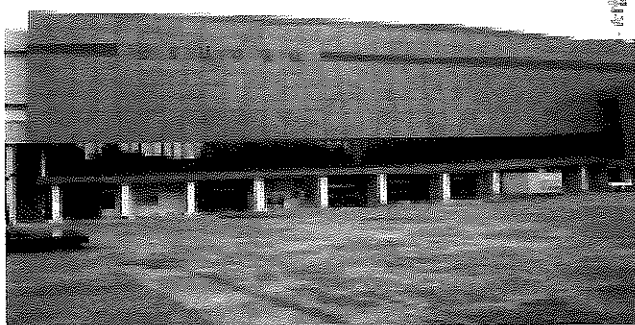
課題名
フレックスコート自由仕上げ（自由課題） 審査員評価 部門
フレックスコート自由仕上げ（自由課題） 一般来場者評価 部門
つや有り合成樹脂エマルションペイント刷毛塗り仕上げ
下地作業 フレックスコート平滑仕上げ
フレックススウェード木目調仕上げ
防水形外装薄塗材E（単層弾性）ローラー塗り仕上げ
調色

15. 会場・宿舎案内図

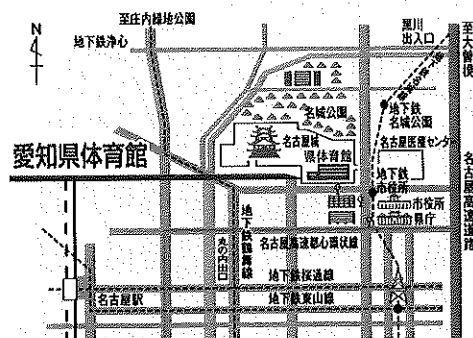
開催日：平成 29 年 10 月 25 日～ 26 日

(予定：24 日 前日準備・審査委員会、25 日 開会式、26 日 表彰式)

会場：愛知県体育館（公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団）



《会場 全景》



所在地

〒 460-0032

愛知県名古屋市中区二の丸 1 番 1 号

TEL 052 - 971 - 2516

《会場へのアクセス》

市役所駅（名古屋市営地下鉄名城線）7番出口より徒歩 5 分

*宿舎

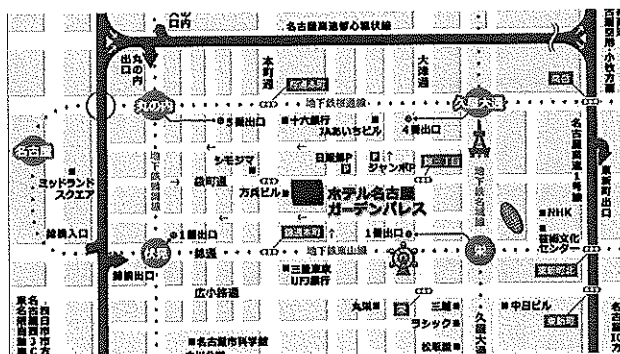
ホテル・名古屋ガーデンパレス 〒 460-0003 愛知県名古屋市中区錦三丁目 11-13

TEL : 052-957-1102

《交通アクセス》栄駅・久屋通駅・丸の内駅、伏見駅（名古屋市営地下鉄）

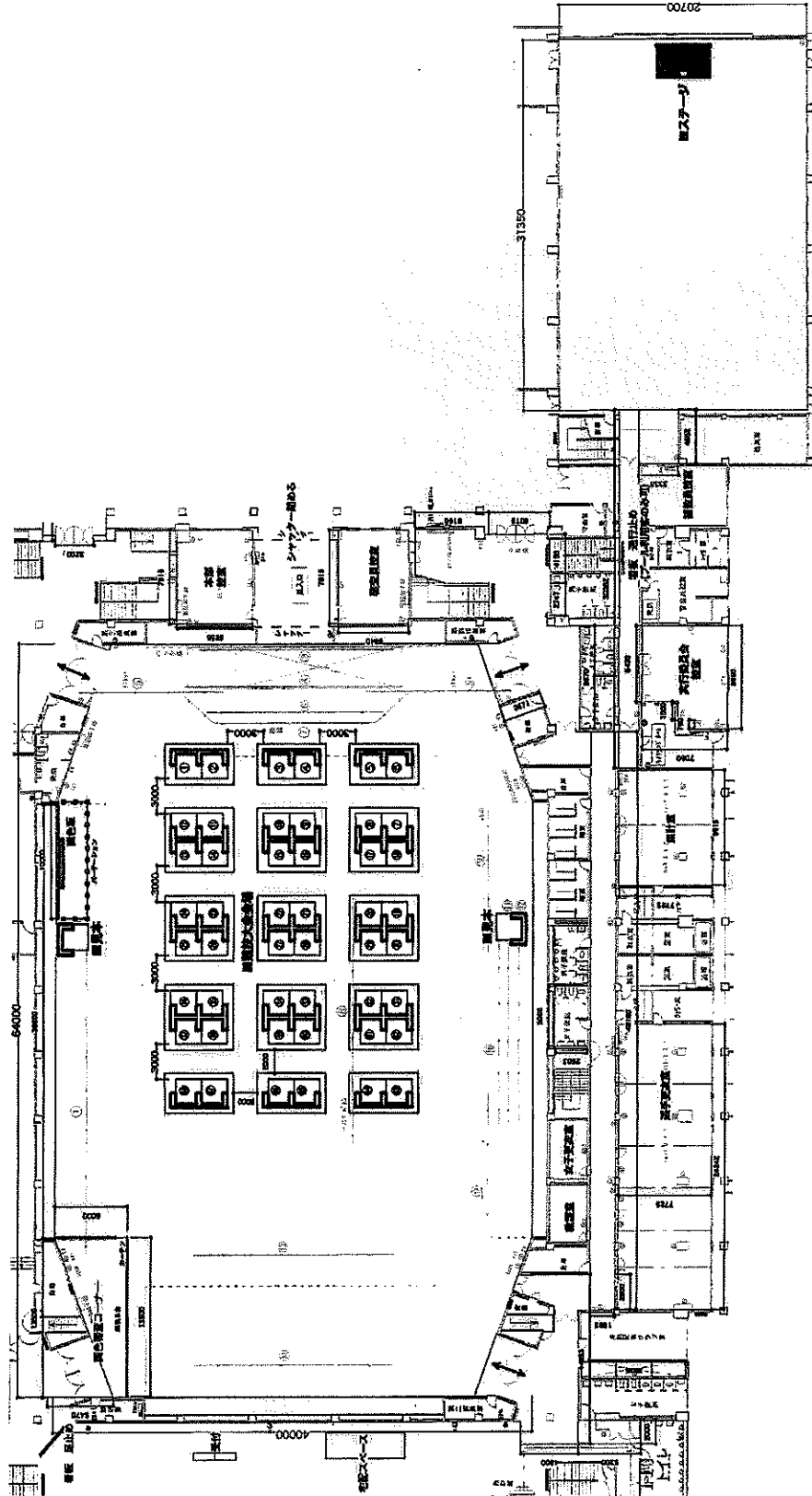
徒歩各 7 分

《宿舎 案内図》



16. 競技会場平面図

<愛知県体育館（公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団）>



17. 出場選手

ブロック	選手氏名	よみがな	支部	所属事業所
北海道	高橋和洋	たかはし かずひろ	北海道	(有)小野寺塗装店
	花田修平	はなだ しゅうへい	北海道	(株)誠塗装店
3名	玉手一成	たまため かずなり	北海道	札幌塗装工業(株)
東北	菅澤孝一	すがさわ こういち	宮城	(株)阿部塗装工業
	菊地貴之	きくち たかゆき	宮城	(株)櫻下塗装工業
	高橋智洋	たかはし ともひろ	宮城	(有)稲富塗装店
	伊藤健	いとう けん	福島	(有)マルイ塗装
5名	小松孝志	こまつ たかし	福島	菊地建築塗装(株)
関東	多並清光	たなみ きよみつ	茨城	(株)石川建築
	金井暁生	かない あきお	群馬	(有)カナイ建装工業
	伊藤一矢	いとう かずや	埼玉	インベックス(株)
	石橋裕太	いしばし ゆうた	千葉	(有)宇井塗装店
	古畑祐介	ふるはた ゆうすけ	長野	(株)フルハタ
6名	渡辺武紘	わたなべ たけひろ	山梨	(株)井上塗装
東京・神奈川	清水義行	しみず よしゆき	東京	佐藤興業(株)
	荘司辰弘	そうじ たつひろ	東京	佐藤興業(株)
	高橋淳一	たかはし じゅんいち	東京	佐藤興業(株)
	新垣翔太	しんがき しょうた	東京	大沢光太郎建築塗装(株)
	越後谷秀一	えちごや しゅういち	神奈川	原田美装(株)
6名	今井淳一	いまい じゅんいち	神奈川	(株)世古塗装工業
北陸	高橋賢行	たかはし まさゆき	新潟	(株)オールペイントコグレ
	今井優太郎	いまい ゆうたろう	新潟	ビソー(株)
	辻政雄	つじ まさお	富山	(有)大崎塗装
4名	河森翔也	かわもり しょうや	富山	松本塗装工業(株)
中部	小林龍矢	こばやし たつや	静岡	静岡塗装(株)
	石川剛	いしかわ ごう	静岡	日宏乃塗装(株)
	戸村正博	とむら まさひろ	愛知	(株)TOM創屋
	吉原武志	よしはら たけし	愛知	(株)乃一
	青山拓也	あおやま たくや	愛知	(株)宮木商会
	吉仲通史	よしなか みちふみ	岐阜	(株)五味塗工店
7名	三浦大輔	みうら だいすけ	三重	(有)小寺塗装店
近畿	上田豪士	うえだ たけし	京都	(株)小室塗装店

	江元良幸	えもと よしゆき	大阪	(株)ヒノテック
	大村嚴謙	おおむら よしのり	大阪	(株)石渡康三郎塗装店
	尾崎賢司	おざき けんじ	大阪	(株)三木塗装店
	濱田満平	はまだ まんぺい	大阪	竹林塗装工業(株)
6名	栗原貴宏	くりはら たかひろ	和歌山	栗原塗装
中国	中山喜誉士	なかやま きよし	鳥取	中山塗装
	渡邊直美	わたなべ なおみ	広島	日塗(株)
3名	武藤浩樹	むとう ひろき	山口	(有)武藤塗装店
四国	下村太志	しもむら たいし	徳島	(有)阿木塗装
2名	筒井敏夫	つつい としお	徳島	(株)菅原塗装
九州	横川宏晃	よこかわ ひろあき	福岡	(有)友栄
	馬場隆一郎	ばば りゅういちろう	佐賀	(有)藤崎塗装
	田中茂徳	たなか しげのり	熊本	(有)村上茂塗装
	甲斐鉄也	かい てつや	大分	(株)佐藤塗工
	長友悠介	ながとも ゆうすけ	宮崎	森塗装(株)
6名	松田敏弘	まつだ としひろ	宮崎	(株)緒方塗装
計	48名			

18. 出場選手の心得

全国建築塗装技能競技大会に出場する選手の基本的な心得をつぎの通り定める。

技能競技大会の期間中、競技会場内、宿舎およびこれらに付随する諸施設内にあつては、団体の秩序と友愛をモットーとし、互いに協力し合つて、技能の日本一を選出する大会にふさわしい環境を作るように心がけること。

いやしくも名誉ある大会の気風を乱し、選手の本分に反しないよう服装、言葉づかいなどには十分留意し、かつ品位を保ち、誇りある選手として、自覚ある行動をとるよう心がけること。

また各ブロックの代表として一般職人の模範でもある自覚をもって大会に臨むこと。

大会の採点に関する事項（本大会には審査基準が有り、減点事項が定められています）については、実施要項の通り作業ができていゝのはもちろんのこと（できていない場合は減点）作業態度等についてもふさわしい態度で臨むこと（ふさわしくないとと思われる者は減点対象となります）。

① 作業態度

【作業中の態度】

- ・作業中の態度姿勢は作業にふさわしいか。
（あぐら、地ベタ座り、尻つきなどはいけません）
- ・各作業にふさわしい姿勢で作業しているか。
（コテ作業、コテ板の持ち方、下部の作業は中腰になっているか。ハケ塗り作業サゲカン、バケットの持ち方、ひじが伸びているものは良くないなど）

【服装】

- ・腕まくり、裾まくりはいけません。帽子の正しい着用。
（帽子のつばが課題にあたる作業時のみ後ろかぶり可）
- ・ボタン、チャックの開けすぎ、靴は作業に適しているかなど。

【安全作業】

- ・ペーパー掛け作業時、マスクを着用しているか。
- ・他人にケガをさせた者は失格。
- ・自身がケガをした者は減点。

② 違反行為

- ・不正道具の使用

- ・材料の譲り受け（譲った者、譲られた者 両方）。
- ・道具の貸し借り（貸した者、借りた者 両方）。
- ・提出用の色見本に直接色試ししている者。
- ・養生不可の部分に養生している者。
- ・他の選手のスペースや通路に道具をはみ出して置いている。
- ・危険と思われる行為をしている者（※注意をして減点）。
- ・その他違反と思われる行為。

③ 整理整頓

- ・作業中、作業スペースが作業しやすいよう整理されているか。
- ・材料置場が機能的に整理されているか。
- ・ペーパー掛け作業中、ほこりが塗料に混入しない工夫をしているか。
- ・調色中、材料の転倒、こぼれに注意をしているか。
- ・調色中、塗料の乾燥皮張りに工夫をしているか。
（ぬれウエス、マスキングテープを使ってかぶせているなど）
- ・道具類の後始末、コテ板、コテなどきれいにしているか。
- ・ゴミは小さくまとめているか。

※休憩中の整理整頓を重視する。

④ 試し塗り

- ・ローラーもネタを十分なじませているか。
- ・仕上がり具合を確認できる塗り方をしているか。

⑤ 終了時間チェック

- ・選手の「終わりました」の合図を受けて終了時間とする（片付けを含め）。

⑥ 水の支給について

- ・選手1人当たり2ℓの水（作業用）を支給する。

⑦ 作業中の手つきや動きについて

- I 極めて高度な技能で卓越していると判断されるもの（欠点理由の無い優れたもの）
- II 通常の技能より優れていると判断されるもの
- III 通常の技能を示すと判断されるもの
- IV 通常の技能よりやや劣ると判断されるもの

V 劣ると判断されたもの

以上の5段階にて評価します。

全ての作業において無駄のない動き、スピード感、熟練度などが見てとれるように作業を行って下さい。

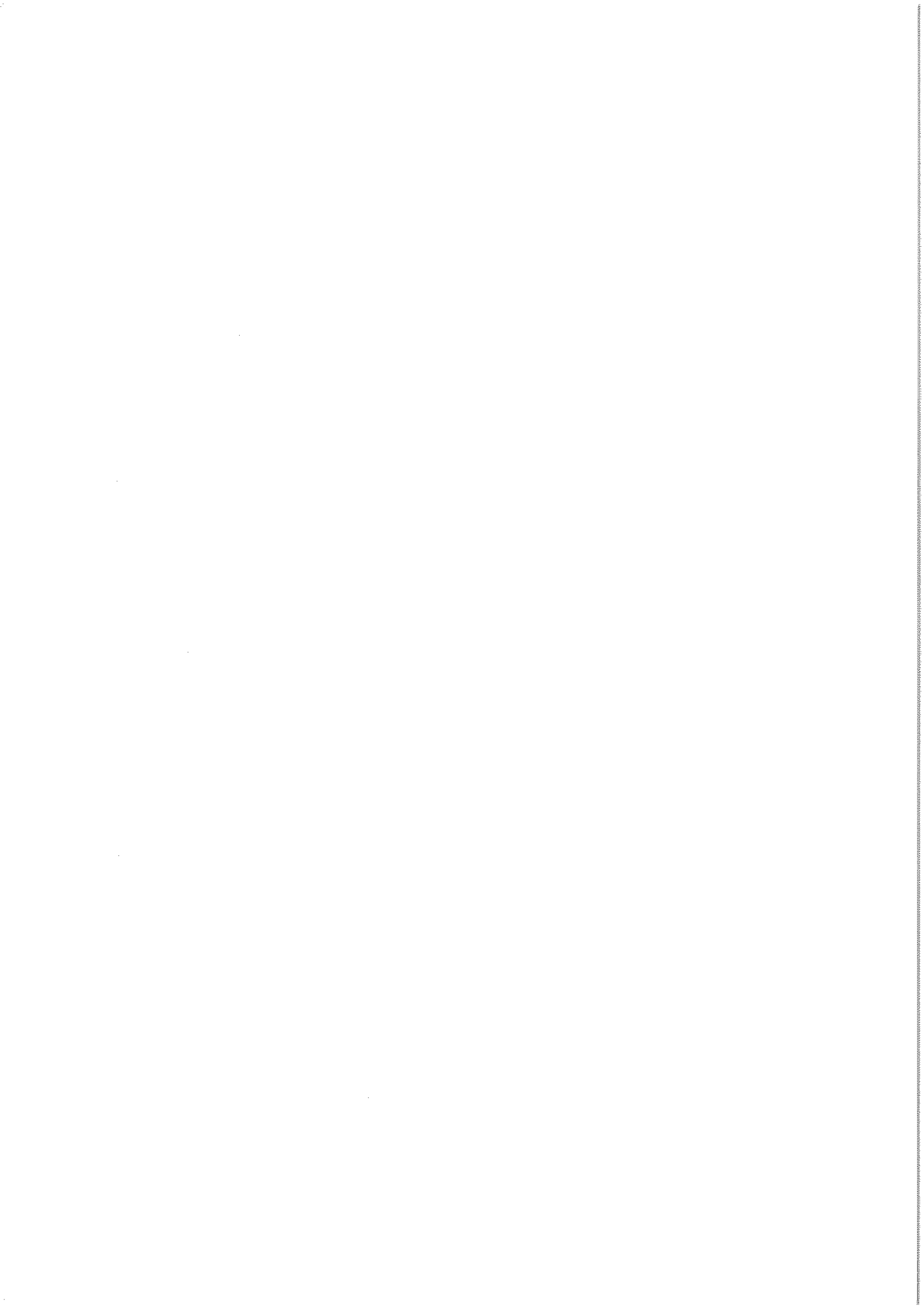
<競技大会会場>

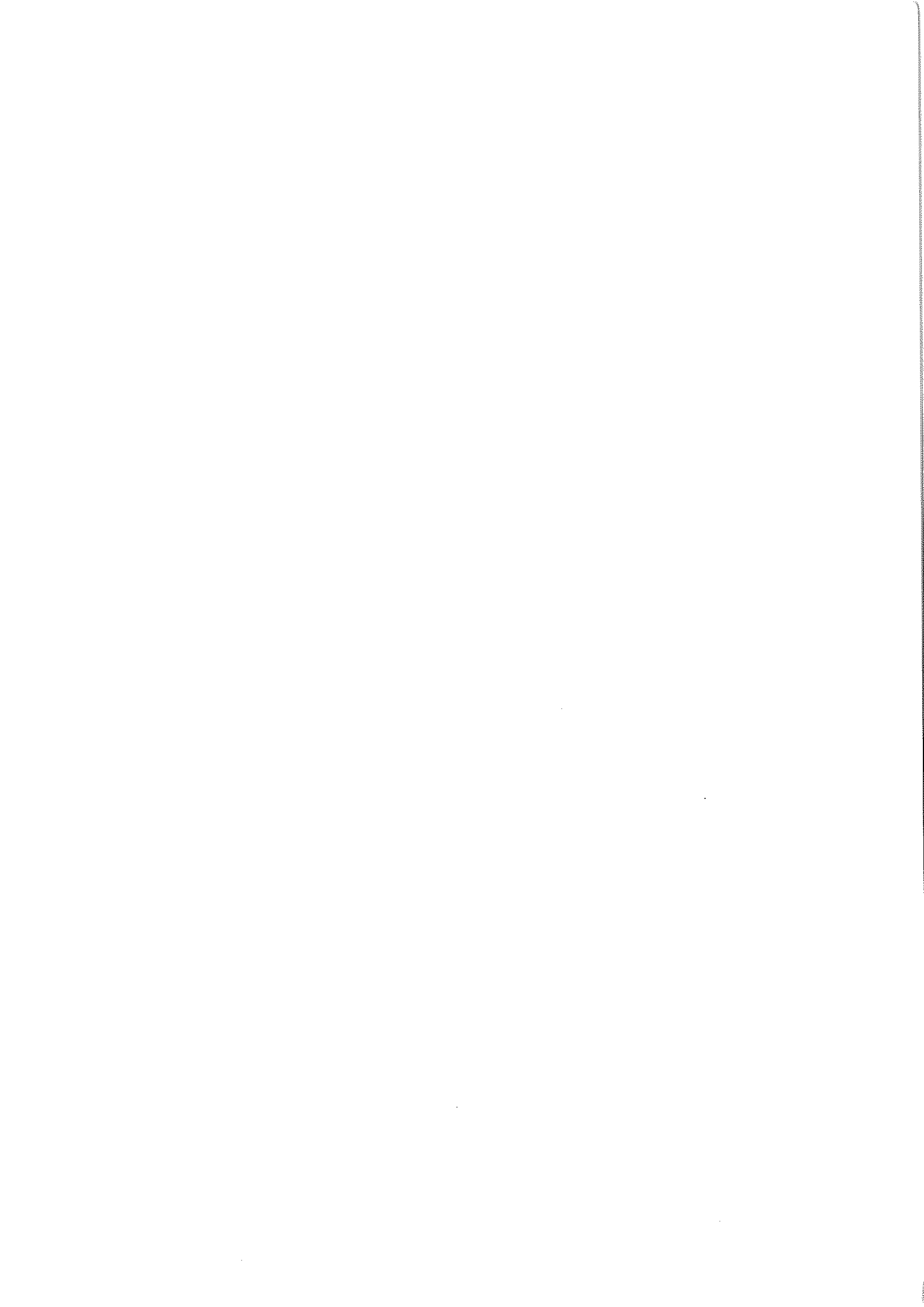
1. 集合、競技開始、休憩など、競技中の進行時間を厳守し、特別の理由のない遅刻は絶対にしないこと。
2. 大会会場をはじめとし、施設、備品その他の公共物を破損しないもしくは紛失しないこと。
3. 会場へ集合前、終了後または休憩時間中、所定の場所以外への進入、立入りをしないこと。みだりに徘徊することも禁止する。
4. 公共物を大切に扱い、所持品の整頓に心がけること。
5. 雨具を用意してくること。
6. 期間中は、実行委員、審査員など主催者の指示に従うこと。

<宿 舎>

1. 暴飲暴食をつつしみ、十分に休養、睡眠をとること。
2. 夜間は必要以上に大声、雑音を避け、他人の妨げとなる行為をつつしむこと。
3. 宿舎内の施設を大切にすることはもちろん、常に整理・整頓・美化につとめること。
4. 煙草は指定された場所で喫煙し、火災の予防にも心がけること。
5. 非常口、避難用具を確認し、緊急の場合の心構えを訓練しておくこと。
6. 不明な点があれば、遠慮なく実行委員まで申し出ること。

※なお、宿舎において目に余る行為があった場合は出場資格を失うこともあるので、十分注意すること。





第 25 回全国建築塗装技能競技大会実施要項
平成 28 年 12 月 14 日 第 1 版 (ブロック大会版)
平成 29 年 9 月 1 日 第 2 版 (全国大会版)

編 集 一般社団法人 日本塗装工業会 技能委員会

発 行 一般社団法人 日本塗装工業会